

適性検査 I

ちゅう い
注 意

- 1 試験監督の先生の合図があるまで、中を開かないでください。
- 2 検査問題は、1 ページから 8 ページまであります。
- 3 解答用紙は、表と裏の両面に解答らんがあります。解答は、全て解答用紙に書きましょう。
- 4 解答時間は、45分間です。
- 5 机の上の「受検票」をよく見て、解答用紙に、学校名、男女、受検番号をまちがいのないように書きましょう。

もんだいようし
問題用紙のあいている場所ぼしよは、したが下書きや
けいさん計算しよなどに使用してもかまいません。

1

次の文章と会話文をよく読んで、(1)から(5)の問いに答えましょう。

ある日、ヤスオはカイ星という星から来た宇宙人のトナと出会いました。ヤスオとトナは、少しずつ仲良くなっていきました。トナは特殊な力でヤスオの日本語が分かりますが、ヤスオはトナのカイ星語が分かりません。しかし、身振り手振りでコミュニケーションをとっているうちに、ヤスオはトナのカイ星語が少しずつ分かるようになってきました。

ヤスオは、これまでに分かった日本語の文とカイ星語の文との関係をノートに書いてみました。

なお、カイ星語は< >で表すものとします。

わたし
私はトナです。=<ミミ トナ イ>

わたし
私はあなたが好きです。=<ミミ ホー ヨリ イ>

わたし
私は本が好きです。=<ミミ ホー ラミ イ>

わたし
私は難しい本は好きではありません。=<ミミ ホー デシゾワ ラミ ヌ>

わたし
私は本が好きでした。=<ミミ ホーホー ラミ イ>

あなたは本が好きですか。=<ヨリ ホー ラミ ノ>

あなたは何が好きですか。=<バ ヨリ ホー ノ>

ヤスオ：トナは、私たちについて調べる仕事で地球に来たんだね。ところで、トナは仕事が好きかい。

トナ：< **ア** > <ミミ ホー タコミ イ>

ヤスオ：そうか。「仕事」は<ドノイ>なんだね。それにしても、トナは私が教えてあげたゲームが好きなんだね。よし、今度はカイ星語で質問してみるよ。ええと、①<バ ヨリ ワソ ノ>

トナ：<ミミ ワソ タコミ イ>

ヤスオ：あはは。よほどゲームをして遊ぶのが好きなんだね。

ヤスオはカイ星語せいごを覚おぼえるのが楽たのしくなってきました。そこでヤスオは、覚おぼえたカイ星語せいごの言葉ことばをノートにまとめてみました。

にほんご 日本語	せいご カイ星語	にほんご 日本語	せいご カイ星語	にほんご 日本語	せいご カイ星語
た 食べる	テコ	わす 忘れる	サロ	あた 新しい	ノワ
た 食べもの	テキ	あ 会う	ミメント	たの 楽しい	ピノワ
はたら 働く	ドノオ	ともだち 友達	シェリ	うれしい	サトーワ
しごと 仕事	ドノイ	また	トトテ	まじめに	ローゼ
もど 戻る	ガオ	むずか 難しい	デシゾワ	べんきょう 勉強する	スコロ

ヤスオ：へえ、「食べる」が<テコ>で「食べもの」が<テキ>か。また、「働はたらく」が<ドノオ>で「仕事しごと」が<ドノイ>なんだ。②どうやら、動きうごを表あらわす言葉ことばと、ものを表あらわす言葉ことばには、それぞれきまりがあるようだね。そうすると、「新あたしい遊あそび」を意味するカイ星語せいごは、< >だね。

ヤスオはカイ星語に夢中ですが、トナは遊びたいようです。

トナ : <ネ ミミ ヨリ ワソ イ>

ヤスオ : <ネ>というのは、相手を誘うときの言葉なんだね。<ネ>の後に自分と相手を表す言葉を入れたら「～しよう」になるんだ。じゃあ、「また遊ぼう。」はどう言ったらいいの。

トナ : <ネ ミミ ヨリ ワソ トトテ イ>

ヤスオ : 「また」を表す<トトテ>は、<ワソ>の後にくるんだ。じゃあ、「私はまじめに勉強する。」は<ミミ スコロ ローゼ>だね。

トナ : <ミミ スコロ ローゼ イ>

ヤスオ : そうだった。つい、最後に<イ>をつけるのを忘れちゃうな。気を付けなくちゃ。

ヤスオはトナと楽しい日々を過ごしていましたが、ついに別れのときがやってきました。トナはカイ星に戻らなくてはなりません。

トナ : <ミミ ガオ カイ イ> <ミミ ホーホー タコミ イ>

ヤスオ : 私もゲームが好きだったよ。元気でね、トナ。最後にカイ星語で言うよ。< **ウ** > お別れの言葉になったかな。

- (1) **ア** に「^{わたし しごと す}私は仕事が好きではありません。」という^{い み}意味の^{せいご}カイ星語を書きましょう。
- (2) ^{かせんぶ}下線部①の<バ ヨリ ワソ ノ>の^{い み}意味を^{にほんご}日本語で^か書きましょう。
- (3) ^{かせんぶ}下線部②にある「^{うご}きまり」とはどのようなことでしょうか。「^{あらわ ことば}動きを表す言葉」、「^{あらわ ことば}ものを表す言葉」のそれぞれについて^か書きましょう。
- (4) **イ** に「^{あたらし あそ}新しい遊び」という^{い み}意味の^{せいご}カイ星語を、2つの^{ことば}言葉で^か書きましょう。また、^{ことば}言葉の^{じゆんばん かんが}順番を^{さんこう}考えるときに^{せいご}参考にした^{せいご}カイ星語を、^{ほんぶんちゆう}本文中から^ぬ抜き出して、2つの^{ことば}言葉で^か書きましょう。
- (5) **ウ** に、^{ほんぶんちゆう}本文中から^{よ と}読み取れる^{せいご}カイ星語の^{つか}きまりを使って、^{せいご}カイ星語の^{ぶん}文を書きましょう。また、その^{い み}意味を^{にほんご}日本語で^か書きましょう。さらに、^{つか}使った^{せいご}カイ星語の^{ぶん}文の^{えら}きまりを1つ選んで、その^{せつめい}説明を^か書きましょう。
- なお、^{せいご}カイ星語の^{ぶん}文は、^{ほんぶんちゆう}本文中に出^でてきた^{ことば}言葉を用^{もち}いて^か書くこととしますが、<ミミ ホー ラミ イ>のように、^{ほんぶんちゆう}本文中の^{ぶん}文をそのま^{もち}ま用いることはできません。

2

おがわ かぞく あす じゅんび はなし
 小川さんの家族では、明日のキャンプの準備について話をしています。
 よくよ 読んで、(1)から(3)の問いに答えましょう。

とう
 お父さん：さあ、いよいよ明日はキャンプだ。

ひろし : やったあ。

とう
 お父さん：明日は早起きだ。今夜はしっかり寝ておこう。

かあ
 お母さん：お父さんは朝が弱いのに大丈夫なの。最初は私が運転するね。

とう
 お父さん：頼もしいな、お母さん。ところで、明日の朝あわてないように、今夜のうちに荷物を車に積み込もう。

あかね : えっ、今から荷物を積むの。明日の朝じゃいけないの。

かあ
 お母さん：荷物がたくさんあるからね。明日の朝でなくてもいいものは、今夜、先に積みましょう。もちろん、明日の朝、積み直すことになったら意味がないからね。

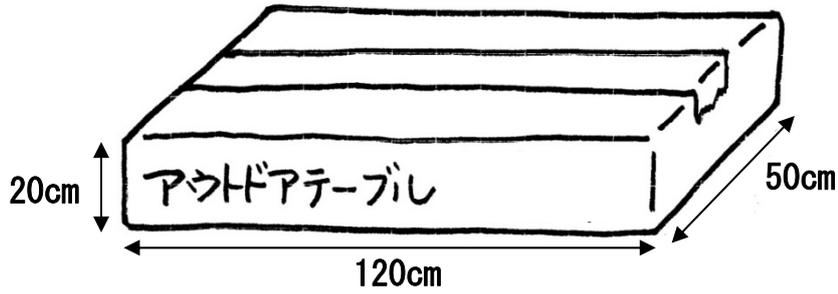
とう
 お父さん：うちの車の荷物の収納スペースの大きさは、幅140cm、奥行100cm、高さ100cmだね。

かあ
 お母さん：座席の足元に荷物を置くのはやめましょう。長時間のドライブになるんだから。

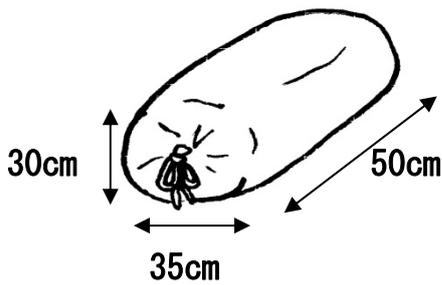
とう
 お父さん：分かっているよ。収納スペースだけに積み込もう。ひろし、あかね、荷物の大きさをはかってみてくれないか。

つぎ ず こ おお にもつ
(次の図は、子どもたちが大きさをはかったすべての荷物です。)

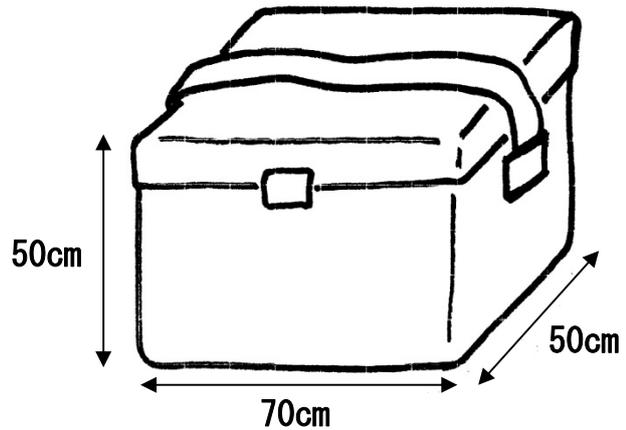
①アウトドアテーブル (1つ)



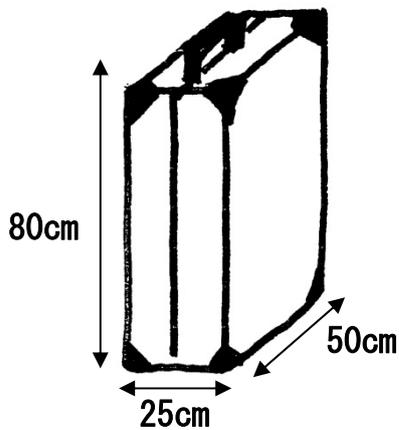
②ねぶくろ (4つ)



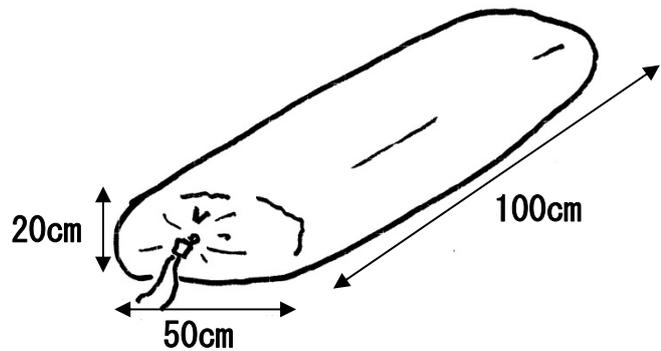
③クーラーボックス (1つ)



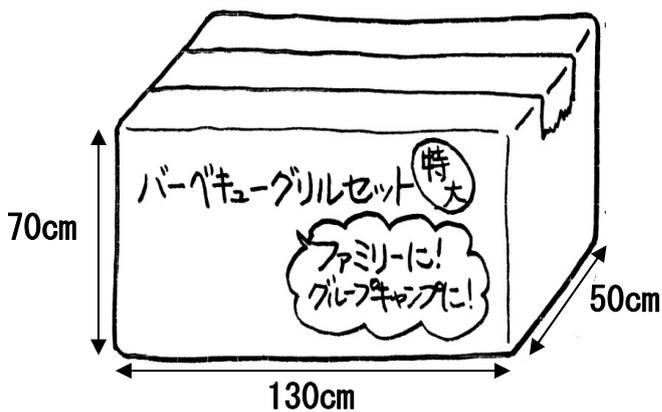
④トランク (2つ)



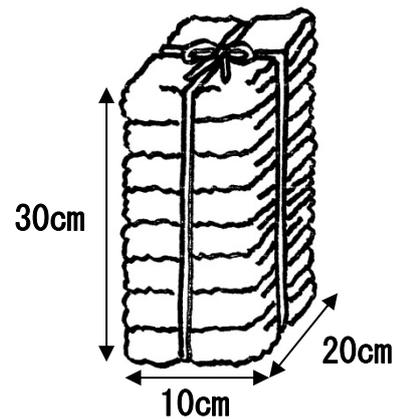
⑤テント (1つ)



⑥バーベキューグリルセット (1つ)



⑦タオルセット (1つ)



ひろし : はかり^お終わったけど、この荷物^{にもつぜんぶはい}全部入るかなあ。

お父さん : 考え^{かんが}なきやいけないことは、大き^{おお}さだけじゃないよ。やわらかいもの^{うえ おも}の上に重いものを置かない方がい^{ほう}いね。

あかね : こんな大き^{おお}きなバーベキューグリルセットを駐^{ちゅうしゃじょう}車場から運ぶのは、大^{たいへん}変そうだなあ。

お父さん : 今^{こんかい}回はテントをたてる場所^{ばしょ}のすぐとなりに駐^{ちゅうしゃ}車できるから、心配^{しんぱい}ないよ。

あかね : よかった。でもちよ^まっと待^{まち}って。収^{しゅうのう}納スペースの幅^{はば}が140cmで、バーベキューグリルセットの幅^{はば}が130cmでしょ。車^{くるま}が揺れたら横^{よこ}にずれて、不安^{ふあんてい}定になつたりしないかな。

お母さん : バーベキューグリルセットの横^{よこ}にはタオルセットを置^おくとい^いんじゃない。あと、保^{ほれいざい}冷剤やお肉^{にく}などの食^{しょくざい}材をクーラーボックス^いに入れて車^{くるま}に積^つみ込^こむのは、今^{こんや}夜じゃなくて明日^{あす あさ}の朝だね。

あかね : 洗面^{せんめん}道具^{どうぐ}も明日^{あす}積^つみたいな。朝^{あさ}に使う^{つか}ものもあるから。着^き替えなどと一緒に^{いっしょ}にトランク^いに入れよう。

お父さん : キャンプ^{じょう}場^いに行く途中^{とちゅう}で買^かう炭^{すみ}を積^つみ込^こむスペースを、忘^{わす}れずに空^あけておこう。

ひろし : キャンプ^{じょう}場^つに着いたら、まず火^ひをおこすんだよね。

お父さん : いやいや、暗^{くら}くなってからテントをたてるのは大^{たいへん}変だから、まずはテントだ。テントをたてて、荷^{にもつ}物を降^おろして、それから火^ひおこしだ。

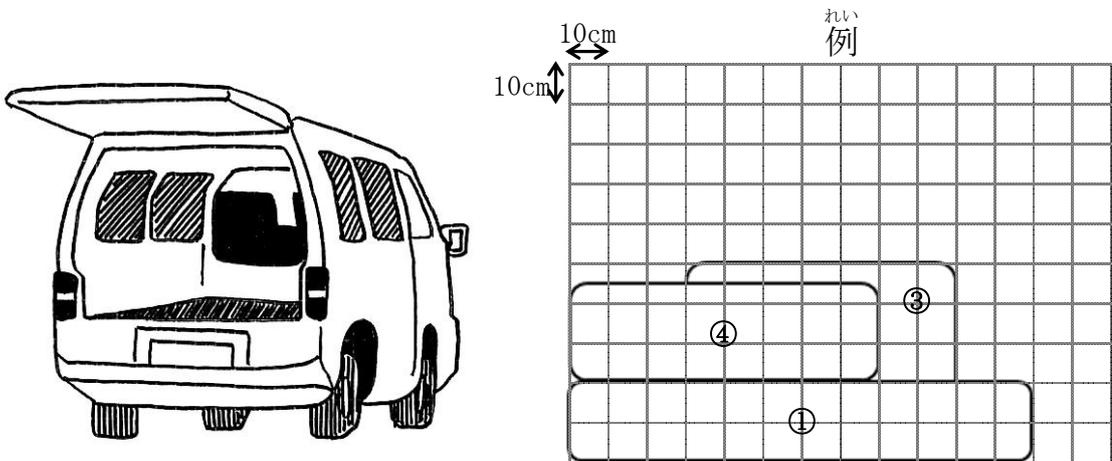
お母さん : そうだ。キャンプから帰^{かえ}るとき、わき水^{みず}で有名^{ゆうめい}なところを通^{とお}るでしょ。そこのお水^{みず}をくんで家^{いえ}に持ち帰^{かえ}りたいなあ。その水^{みず}でご飯^{はん}をたくとおいしいのよ。確^{たし}か、その場所^{ばしょ}で水^{みず}のタンクも買^かえるはずよ。

ひろし : ちよ^まっと待^{まち}って、お母^{かあ}さん。水^{みず}のタンクを積^つむスペースなんかないと思^{おも}うよ。

お父さん : ア大丈夫^{だいじょうぶ}だよ。帰^{かえ}りにはスペースができるはずだよ。

(1) 子どもたちが大きさをはかったすべての荷物を収納スペースに積み込むとした場合、気を付けなければいけないことは、どんなことでしょうか。会話文中から読み取れることを、すべて書きましょう。

(2) 下の絵は、小川さんの家族の車を後ろ側から見たものです。子どもたちが大きさをはかったすべての荷物を収納スペースに積み込むとした場合、前日のうちに積める荷物を積み込んだ状態と、キャンプ当日の朝にすべての荷物を積み込んだ状態のそれぞれについて、例にならって、車の後ろ側から見た図に表しましょう。



※見えているはずの荷物は、すべて図に表しましょう。

※①、③、④の番号は、それぞれ荷物の番号を表します。

(3) 下線部アで、お父さんはなぜそのように言ったと考えられますか。会話文をもとにして考えられることを書きましょう。

ただし、現地で買える水のタンクは、幅30cm、奥行30cm、高さ30cmのもので、車の収納スペースに積み込むこととします。

これで、^{てきせいけんさ}適性検査 I の^{もんだい}問題は^お終わりです。

平成28年度 市立札幌開成中等教育学校入学者選考
適性検査 I